

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

消化器外科周術期における播種性血管内凝固症候群に対するヒトリコンビナント・トロンボモジュリンの有用性の後方視的検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2012年1月～2015年12月に昭和大学病院消化器・一般外科において術後、播種性血管内凝固症候群(DIC)の診断・治療を受けられた方

### 2. 研究目的・方法

消化器外科周術期(術前・術中・術後を含めた一連の期間)において、体の血管の中で血栓(血液の塊)ができやすくなったり、容易に出血したりする播種性血管内凝固症候群(DIC)を発症した症例を対象に、カルテの記録を用いて検討を行います。

DICの治療薬であるヒトリコンビナント・トロンボモジュリンは、DICの改善、救命率の向上に寄与することが報告されていますが、消化器外科周術期に使用した場合の報告例は少なく、その有用性や安全性に関するデータは不十分と考えられます。本研究では、消化器外科周術期に発症したDICに対してヒトリコンビナント・トロンボモジュリンを使用した患者さんを対象に、患者背景・原因疾患・周術期合併症・術後採血データなどを抽出して、ヒトリコンビナント・トロンボモジュリンによるDICの治療効果や安全性を検討いたします。

### 研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2021年12月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、既往歴、合併症、原因疾患、手術日時、手術方法、手術時間、出血量、術後在院日数、術中偶発症、術後合併症、血液検査、CT画像

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部 外科学講座 消化器・一般外科学部門

研究責任者：松田 和広

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8541